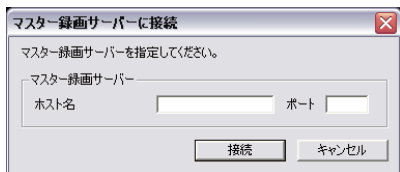




■VKビューワーを起動する

インストールしたパソコンでデスクトップのアイコン [VKビューワー] をダブルクリックします。
(録画・検索サーバへの接続メニューが表示されます。)



[マスター録画サーバ]で
[IP アドレスで指定する]を
選択して[接続]を
クリックします。

接続したい街頭防犯カメラの
IP アドレスとポートナンバーを
入力すると[ログイン]の
ダイアログボックスが
表示されます。

接続先 IP アドレス控え欄	
拠点名	
IP	
ポート	

ユーザー名 / パスワード控え欄	
ユーザー名	
パスワード	

[ユーザー名]と[パスワード]を
入力して[ログイン]をクリックします。
ビューワーが起動します。

- 大文字、小文字の間違いに注意して入力してください。
- ユーザー名 / パスワードについては、管理者に確認してください。
- 本書の控え欄にユーザー名 / パスワードをメモしてご利用される場合
第三者に情報の漏洩が無いよう厳重に管理してください。

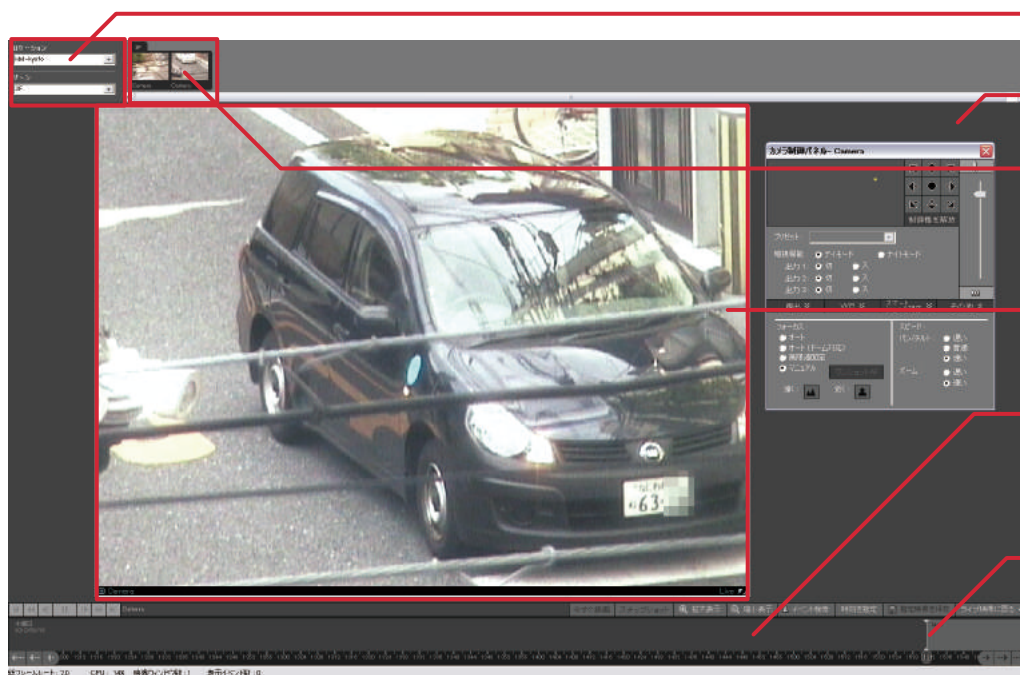
■VKビューワーを終了する



メニューバーから
[ファイル]>[終了]を
選択します。
ビューワーが終了します。

- クライアントのパソコンでスクリーンセーバーを設定していると、スクリーンセーバーが起動して画面に何も表示されないことがあります。スクリーンセーバーから画面を復帰させるには、マウスを動かすなどしてください。

■VKビューワー画面



ロケーション / ゾーン

映像表示エリア
映像ウィンドウを配置する領域です。

カメラ選択欄
複数台を統合 (CMS) する場合
カメラの一覧がサムネイル
画像として表示されます。
(CMS 運用は別途有償となります)

映像ウィンドウ
カメラのライブ映像や録画映像を
表示するウィンドウです。

タイムライン
録画情報や発生したイベントが
表示されます。表示される内容は
映像ウィンドウで選択しているカメラ
の情報になります。

再生ヘッド
右端のライブ領域以外の場所に
シークヘッドがある場合は録画
映像の再生です。ヘッドの位置が
再生している日時および時間を
示しています。

映像ウィンドウについて



映像表示

ライブ映像又は記録映像が表示されます。

ライブ映像	現在の撮影映像が表示されます。
記録映像	サーバに記録された過去の映像が表示されます。

タイトルバー

カメラ名と映像の状況が表示されます。
タイトルバーは、映像表示の内容によって以下のように変化します。

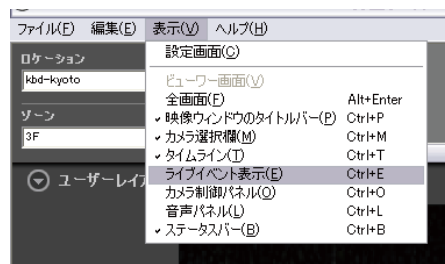
	タイトルバーの色	映像の状況
ライブ映像表示中	黒	Live (ライブ)
録画映像表示中	グレイ	録画時刻

- 映像ウィンドウの表示位置、サイズ、レイアウトの変更などの操作は「システム管理者マニュアル」の「第5章ビューワーリファレンス」を参照してください。
- カメラ選択欄、タイムライン、映像ウィンドウのタイトルバーは、メニューバーの[表示]によって非表示にすることもできます。

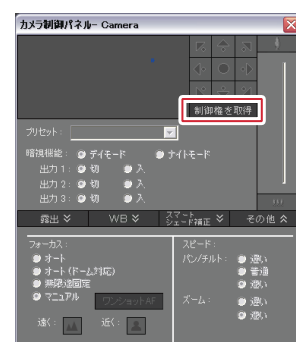


■カメラを制御する

1 制御したいカメラの映像ウィンドウをクリックします。



2 メニューバーから [表示] > [カメラ制御パネル] を選択します。
[カメラ制御パネル] が表示されます。



3 操作メニューから [制御権を取得] をクリックします。
カメラの制御権を取得できた場合は
[カメラ制御パネル] の各ボタンがアクティブになります。

- 「カメラ制御権を取得できません。」というメッセージが表示された場合は、管理者権限を持ったアプリケーションが別起動していることがあります。管理者にお問い合わせください。
- カメラの種類や設定によっては使用できない機能があります。詳細は「システム管理者マニュアル」をご確認ください。

パン / テルト / ズームの操作



パン (左右) / テルト (上下)
パンテルト操作可能なカメラを矢印方向に操作します。
ボタンをクリック又はクリックしたままにすることで
パン、テルトを操作します。

ズーム
ズームスライドバーをドラッグすることで
ズームを操作します。

[プリセット]
あらかじめカメラにプリセット登録されている
アングルをリストから選択して操作します。

パン / テルト / ズームの速度
パン、テルト、ズームの操作速度を調整します。

- 詳細は「システム管理者マニュアル」の「第5章ビューワーリファレンス」を参照してください。
- 録画中のカメラ操作については、あらかじめ管理者と運用方法やルールをご確認して行ってください。
- カメラの制御権を開放せずに30秒間操作が無いと「あと10秒で制御権が失われます」というメッセージが表示されます。
(出荷初期値仕様、変更は可能)

■録画映像を再生する

タイムラインから再生する場合

- 1 再生したいカメラの映像ウィンドウをクリックします。
- 2 タイムバーを左または右にドラッグして、表示時刻を移動させます。

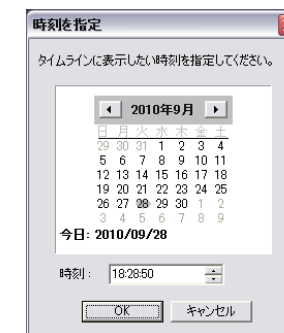


- 3 再生したい時間をクリックします。
選択した映像ウィンドウで録画映像が再生されます。



時刻を指定して再生する場合

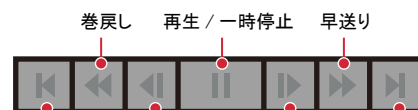
- 1 再生したいカメラの映像ウィンドウをクリックします。
- 2 [時刻を指定] をクリックします。
[時刻を指定] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 日時 / 時刻を選択し [OK] をクリックします。
選択した映像ウィンドウで録画映像が再生されます。

再生映像の調整 / 保存

録画映像をコントロールする



前のイベントへジャンプ 再生、一時停止、巻戻し、早送り、コマ送り、前後のイベントへジャンプを操作できます。巻戻し、早送りは1倍>2倍>5倍>10倍の順で速度を変更できます。

タイムラインを拡大 / 縮小表示する

拡大表示

縮小表示

タイムラインの詳細レベルを変更します。

- [拡大表示] タイムラインを、より詳細に表示できるようにします。
- [縮小表示] タイムラインの全体を表示できるようにします。

ライブ映像に戻る

ライブ映像に戻る →

映像表示を録画映像から、ライブ映像へ切り替えます。

指定映像を保存する (外部媒体への保存)



録画映像は、mov フォーマットで任意の場所に保存することができます。保存した録画映像は QuickTime Player (フリーウェア) や、その他 mov フォーマットに対応したプレイヤーで見ることができます。

保存形式	QuickTime 形式 (拡張子: mov)
録画時間	最長 1 時間

- QuickTime は最新のバージョンまたは、バージョン 6.5.1 以上を推奨します。
- Microsoft Windows Vista をご使用の場合は、映像の保存先としてシステムドライブの Windows フォルダや Program Files フォルダを指定した映像保存はできません。別のユーザーエリア (MyDocument など) へ保存を行ってください。